

## 葉山町子ども・子育て会議 委員自主打合せ結果（第 5 回）

- 1 開催日時  
平成 26 年 10 月 25 日（土） 19 時～21 時
- 2 開催場所  
葉山町役場 職員食堂
- 3 出席者  
（委員）  
柴田みゆき委員、野北康子委員、溝端裕子委員、菅原美子委員（4 名出席）  
  
（子ども育成課）  
大圃主査（1 名）
- 4 内容
  - (1) 次回一般向けイベント（勉強会）の概要  
実施時期は 12 月以降の土日で、講師の先生の日程を中心に決定する。  
時間は 2 時間半程度で、会場は教育委員会か福祉文化会館。  
テーマは、「利用者支援事業」と「子育てひろば事業」の 2 つを設定する。テーマごとに勉強会を実施する。  
構成は、導入の講話 + 町の状況の説明 + 参加者によるグループワーク。  
託児は町で手配。  
次回イベントに葉山のゆるキャラを呼べないか。  
「利用者支援事業」だと一般の人にはイメージしづらいので、イベントの周知をする際はもう少しわかりやすく伝える必要がある。
  - (2) テーマ 1 「利用者支援事業」について  
お母さんは、何か知りたいことや問題があったら、まず役場に聞く。転入のときは必ず行くし、役場で情報をもらえると助かる。  
子連れのお母さんが行くところは、健診の保健センター、児童館、ぼけっとの順番か。ただ、児童館は子どもが行く場所というイメージもある。  
ぼけっとは長柄に住んでいる人には遠い。長柄の人は、何かを利用するときは逗子に行っている。

ぼけっとは転入したばかりの人が行くにはハードルが高い。行ってみてよかったが、入るまでに勇気がいる。どんなところかわからないし、外から様子がみえない。入っても遊び方がわからない。

ぼけっとは、情報を聞きに行くというより、育児の相談にのってくれる場所というイメージがある。

ぼけっとや児童館に来ている親子は同じ顔ぶれのことが多い。それぞれに合う人がいて、どこを選ぶかは親の判断になる。外遊びだけの人もある。

上山口児童館は、駐車場があるから行くという人もいる。

いろいろなタイプの親がいることを考えても、情報を得るのは役場の方が望ましい。

人口規模を考えると、コンシェルジュの機能は集約した方がいい。

ぼけっとが相談先になると、ワンステップはさむことになる。ぼけっとにコンシェルジュの機能をおくと、全部の人が相談するのに一段階増える。

ぼけっとの出先の相談窓口を役場におくという手もある。しかし、一時預かりもファミサポもやっている中で、情報提供まで手が回るだろうか。

ぼけっとは町内の資源の一部と考えた方がよい。それを除いた第三者が子ども育成課の隣で情報提供をした方がよい。たくさん情報をもっていてソーシャルワークの視点を持っている人が望ましい。

コンシェルジュは、愛想がよければ役場の人でもよい。なるべく同じ人がいいので、休まない人がよい。

最近、高齢出産などで育児中の介護が話題になっている。葉山でも困っている人が多い。そうした難しいケースをファミサポで対応していることがあるが、綱渡りで危ない。

鎌倉市は市役所の入口に、「子育てメディアスポット」というコンシェルジュがいる。行政ではない人が3人いて、チラシがたくさん貼ってある。また、子育て支援センターが市内に3ヶ所があり、情報が地域ごとにまとまっている。

### (3) テーマ2「子育てひろば事業」について

ひろばは児童館でも行われているが、一般に「ひろば=ぼけっと」という認識がある。

ぼけっとは先生が5人くらいいるが、児童館は先生1人のことがある。児童館は、ひろばより子どもが遊ぶ場所のイメージが強い。

名称はひろばかもしれないが、議論する際にひろばとして一括りにしない方がよいのではないか。

小さい子は夕方遊びたいが、児童館はその時間は小学生が中心になり、

先生がみきれない。

児童館を増やしてほしい。または、児童館の体制をぼけっと並みに充実させてほしい。特に午前中の先生を増やしてほしい。

人が確保できないのなら、児童館を民間に委託する方法もあるのではないかと。人手として、シルバーセンターの人は使えないのか。

長柄に新しく来たお母さんの行き場がない。ぼけっとは遠いし、葉桜は坂がきつい。近くに公園がない。南郷も坂がきつい。行き場がなくて、コンビニに行ったり、逗子に行ったりしている。

なぜ長柄に住んでいるかというのと、車を持たなくていいから。平地だから自転車を利用する。車がない人はぼけっとまで行けないし、バスも逗子を経由する必要があるので不便。

長柄の中でも、葉桜はうまくいっている。長柄の下には児童館がない。子どもが遊べたり、お母さんが集まれるスペースが何かほしい。

葉桜でファミサポの自治会版みたいなこと(子育てほっとサロン)が行われている。そんなところにも保健師さんがぴよぴよ相談で行けば、ひろばも広がりが出るのではないかと。

子育て支援センターを増やしたり、児童館を民間委託にするのであれば、ぼけっとより離れているところがよい。今の児童館の中では、位置的に元町児童館がよい。駐車場がないが、民間委託であれば、商店街との連携など柔軟に対応できるのではないかと。

#### (4) その他(子どもの遊び場など)

葉山は遊ぶところが少なく、子どもにとって健全な環境だろうか。

キャッチボールできる場所がない。ボール遊びができる公園があるとよい。学校のグラウンドが使えるのも土日だけで、個人利用はできない。

自転車を練習するところもない。

葉山の公園は名前は公園だが、公園をあまり機能面から捉えていないのではないかと。

公園にちょっとしたアスレチックの遊具があるだけで違う。

公園に砂場がない。砂場は子どもも楽しめるし、お母さんにとっても手がかからないから楽。

スーパーのそばに遊び場があるとよい。

児童館は日曜日やっていない。一律日曜日に休みだと、子どもの行き場がなくなる。

(以上)